



果樹類選別の着眼

果樹と一口に簡単に申しますが、果樹の種類は千差万別、大変数の多いものです。

さらに一種類についてみましても、品種の数は大変多く、それぞれ特有の性質を持ちその栽植された土地気候等の条件によりその成果は大いに左右されます。

これから始めて果樹栽培を行う方にとつては、一体どの種類をそしてどんな品種を主体にしたらいいか、ということは果樹園経営の成否を決する重大なことであります。特に果樹は、他の作物とは異なり、半永久的作物なので、一度植えられれば、容易に切換えることが出来ません。従つて始めに十分将来のことを考へて植えつけるべき品種等を決定すべきです。

今後の果樹栽培の方向は、リンゴについて見れば島博士の所説のように、往時のごとく味の飾りリンゴや、贈答用としてのリンゴより脱却して、大衆に大いに利用され愛されるリンゴへと転換すべきでしょう。このことは、ひとりリンゴだけではなく他の種類にも共通すると思われれます。今後の果樹栽培は、より良い、より安い品物を、消費者の皆さんに利用して貰うということで、この方向に向つて栽培法の改善は

急を要します。いかにして生産費を下げて良い物を収穫するか、方法はいろいろありましよう。無袋栽培の確立、草生法による

土壌管理の徹底等は今や当然のことといわねばなりません。更に大切な事柄は、地帯に合つた品種を中心にして経営を行うことです。自家用に一―二本程度であるなら

だしも、優良品種であるからといつて全然不適地に無理をして栽培をしても、良い品は収穫出来ず、生産費はかさむだけです。例えば、梨の二十世紀は現在日本梨でこれの右に出るようすぐれた品質のものはありません。しかし欠点としては、黒斑病に

弱いことです。これが防除については場所によつては袋掛けを三回、ポルドウ液の十五回もの散布を要するという所もありその費用だけで突に莫大になります。現在の主産地鳥取県や信州の伊那地方では、このよ

うな手間を余りかけずともどこに出しても恥かしくない品物が収穫されます。特に北の寒い地方では、一種のあこがれかも知れませんが、全然見込みのないものを作つて

みたいという方が、大変多いように見受けれます。今、各果樹別の耐寒力を比較いたしますと、第一表のごとくになります。

第一表 果樹の種類と耐寒性

(落葉期における地上部の耐寒力)

栽培限界 温度	果樹の種類
零下二〇度	桃、葡萄
二三	菓子クルミ、梅
二五	日本梨、桜桃、日本栗
二七	支那梨、洋梨、李
三〇	リンゴ、杏
三五	クラブリンゴ、大玉グスベリ

このうちドウは、冬期棚から下すことによつて相当寒い地方でも栽培は可能ですが、しかし品種によつては、年により完熟しないこともあります。例えば、甲州とか、ブラックハンブルグ等は、北海道では、無理でしょう。

現在わが国における果樹の主体は、リンゴと柑橘によつてしめられております。南は柑橘、北はリンゴという風に分れております。この二者は、それぞれ他の種類に比較しておのおのその特性を發揮し、現在のように大発展をしたわけですね。

勿論ミカン類は気候に大いに制やくされるものですが、長途の輸送に耐えること、生食及び加工両面に適すること、また海外にも販路があることの外、傾斜地においても十分採算のとれる経営が出来ること等の利点があるためです。

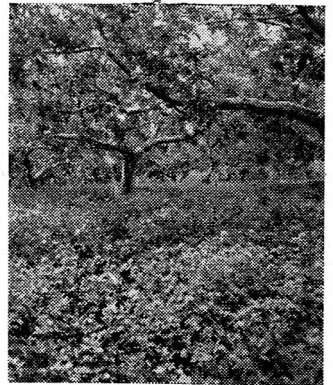
またリンゴは、その品種が多く、しかも品種によつては、貯蔵、長途の輸送に耐えること等、他の果樹に比較して経営上大変有利な点が多いため、日本全国各地で栽培されています。すなわち、北の寒い地方で良

くその特性を發揮する旭のような品種もあり、国光のごとく青森県において特に優良品が産出されるものもあるわけです。また同一品種においても、スターキングのごとく、暖い地方から順次市場に出荷され、寒い北海道のごとく、他の地方が無くなつてしまつてから味の良い品物を有利に出荷出来ることもあるわけです。またレッドゴールドのごとく、輸入された当時のすばらしい評価は下火になつた今日この頃、北海道においてその価値が認められるようになり、昨秋来より苗木が不足を上げて参りました。このように経営する果樹園の環境を考慮に入れ、市場の遠近、市場性を考へて、どのような品種を導入すべきかを決定すべきです。一般的に見てリンゴは、消費者の好みが漸次着色の良いものへと動いて

おります。このため栽培品種も国光は紅国光へ紅玉は濃紅玉へと移行してあります。デリシャスも同様のことがいえませんが、なるべく着色の良い系統を選ぶことが大切です。またゴールドデンデリシャスは、大変成りも良く風味の良いリンゴですが、薬剤に

対して大変弱いため栽培が困難ですが、王鈴は多少小型でも味はゴールドデンと変わりなく、丈夫で作り易い品種です。新たに栽培を始められる方、また今迄の品種を更新なさうという方々は植える前に十分品種の特性を検討の上、植付けることが肝心です。

このほか、最近産詰工場の発達とともに、小果樹類すなわちグスベリ等の栽培も面白いと思ひます。殊に寒冷地や開拓地等では自家用をかねての栽植をおすすめいたします。



リンゴの品種について

リンゴといえば、誰しもあの有名な「リンゴの歌」で赤いリンゴと謳われた様に、真赤に輝いて店頭にならべられてる赤いリンゴを連想する事でしょう。併し一口にリンゴといつても種類は多く、ニューヨーク農試で出版した「ニューヨークの苹果」によりまずと六百三十種程挙げられており、又古来人類により利用されて来たリンゴの種類を数えれば実に数千に達するといわれています。

わが国においても、明治初年以來米國を始めとして各國より輸入紹介された品種の数は五百種にのぼるといわれておりますが、現在われわれが栽培利用しているものは、十五、六種にすぎません。

しかもこの内紅玉と國光の占める割合は大変高く、兩者を合して実にリンゴ栽培の八割をしめております。この事はいかにこの兩者が作り易くしかも豊産で風味も優れて

リンゴ主要産地における品種別栽培状況

産地	祝		旭		紅玉		ゴールデンシャラス		デリンシャラス		デリンシャラス		印度		國光		その他		
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	
北海道	六〇	六六	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
青森	三二	二八	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
岩手	七〇	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
秋田	五五	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
山形	五五	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
福島	三九	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
長野	一〇〇	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
山梨	一〇〇	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
香川	六五	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七

いるかという事を証明しております。次に最近の動向を見ても、最近消費者は着色が良くしかも風味の良い物を求める様になつて来ました。現在のところ最も増殖されているのはデリンシャス系のスターキングとリチャードでこの事をはつきり裏書している様です。この反面紅玉、國光はだんだん減退して行く様です。併し着色の良い系統を育てていく事は大切であつて既にこれ等二品種について見ましても、紅玉系又は紅國光等の改良系統とつてあります。この外紅玉の改良系統としてジョナレットも将来有望と思ひます。

北海道における地域別の品種配合例

品種	道全		道南		道中		道北	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
品種	五	一〇	五	一〇	五	一〇	五	一〇
早生	五	一〇	五	一〇	五	一〇	五	一〇
中生	五	一〇	五	一〇	五	一〇	五	一〇
晩生	五	一〇	五	一〇	五	一〇	五	一〇

又一方ゴールデンデリンシャスは最近だんだんその真価がみとめられつつあり、府県では、積極的にこれが奨励に乗り出しているところもあります。将来はやはり高級リンゴの王として相当程度の栽培が見られる様

☆リンゴの主要品種の解説

前に説明いたしました様に一口にリンゴといつても大変数が多く、これを一一つ説明すればきりがありませんので、これらの内、将来性のあるものを抜き出して簡単に説明いたします。

ゴールデンデリンシャス

本種は、高級黄色リンゴの代表品種で風味も良く、リンゴの王といわれております。併し現在わが国の一般消費者が、黄色系のリンゴを余り好まないため、あまり栽培はされておられません。最近このリンゴの持つ特質がだんだん理解されて来たため増殖が目立つて来ました。特に

なる事でしょう。ただ本種は、幾分薬剤に弱いところがありますが、これに代るべきものとして型はやや小型になりますが王鈴をおすすめいたします。この品種の特性は後程御説明いたします。

又寒地特に北海道北空知以北では旭が急速に増殖されております。この品種は今迄誤つた觀念を消費者にあたえておりましたが、耐寒力強く、特に北方産の果実は、貯蔵もきき味も甘酸適和であつてまだまだ増殖の余地があります。この外、最近米國より輸入紹介された品種の内ではレッドゴールド等は、栽培地帯を考えれば、相当取入れても面白い品種です。

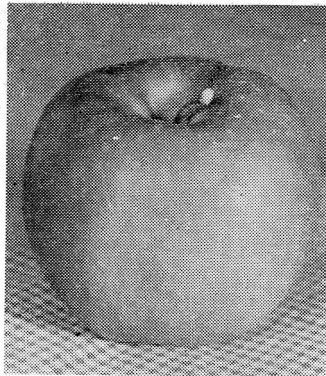
次に二、三主要品種の特性を説明いたします。なお上の表は、各府県における品種配合状況で別表は北海道における栽培地域別の品種の配合割合です。

福島、長野では奨励品種になつております。わが国に輸入されたのはスターキング等よりも古く、大正十二年島高土により青森県に入つたのが始まりです。大麥結果年齢に達するのが早く、併も年々豊産、隔年結果性もなく、栽培方法にすこし注意すれば大変美しい風味のすぐれた果実を取獲出来ます。現在青物として除袋せず、青いまま出荷されているようですが、これは誤りで、適当の時期に除袋され、黄金色に輝きサリット果面に紅をさしたように着色されゴールデンは、おそらく誰もが口にしたくなります。本種の唯一の欠点は、薬剤に弱い事

であつて、袋掛けの方法により防いでおりますが、薬剤の使用法により被害も防ぐ事も出来るようになって来ましたので、ある程度の栽植は是非おすすめていたします。

王 鈴

本種は、戦後青森県リンゴ試験場から発表された品種で、品種登録されております。両親はゴールドデンリシャスとデリシャスで、色は黄金色、形はゴールドデンよりやや小型であるため小型ゴールドデンと呼ばれております。この品種は、ゴールドデンの最大欠点といわれている葉害がなく、ゴールドデンに比較して大変作り易い。形は小型とはいへ、肥培に気をつければ相当大きくもなり、最近消費者の方々は、余り大きくないものを求めている傾向にありますので、黄色リンゴの一つとしても増殖すべき品種です。青森の南部地方から岩手県にかけて逐次増殖されてつあります。



レッドゴールド

レッドゴールド

本種は戦後、大変な評判の下に米国より輸入されたもので、ゴールドデンリシャスの実生ともいわれております。形は紅玉に類似し、重量一五〇g位です。色は全面輝かしい紅色で覆われ、風味と香味は、丁度ゴールドデンとスターキングを混和したといった方がピッタリする位で、品質優良です。結果期に達する事早く、而

も樹勢強健、結果性も良く、年々豊産です。このリンゴは、熟期は丁度旭と紅玉の中間位になり、貯蔵力はやや劣りますが、早もぎのスターキング等が出荷されている頃で余り良質なリンゴの無い時ですので、ある程度作られると面白いと思ひます。寒いところでは割に貯蔵もきき風味が優秀なので栽培されつつあります。

アーリースト

現在作られている早生リンゴの内最も早く成熟するといわれ、形も大きく、色は全面紅色で覆われており、味も酸味少なく、早生種としては優良で、熟期は黄魁より一週間乃至十日位早く早生リンゴとして今後大いに期待出来ます。

デリシャス

本種は、現在栽培されているリンゴの品種中最も形も良く、色も美しく、味も良い、といわれております。

大正元年頃始めて日本に輸入され、高級リンゴの一つとして栽培されて来ました。併し本種の枝変わりであるスターキング、リチャードが本邦に輸入されてから一時本種の栽培はへりましたが、最近再び貯蔵力が後二者に比較して、特に寒い地方では大きいため急激にふえつつあります。

本種の欠点としては、あぶら虫がよくつく事ですから、良く注意して、薬剤散布することが大切です。

本種の枝わりは大変多く、現在有名な品種はスターキング、リチャードの二種で、特に前者は色付きも早く、形も大きいため、青森県等では急に増大いたしております。色は暗濃紅色、で味もよろしいですが、貯蔵力があまりないようです。またリチャードはスターキングに比してやや小型ですが、色は全面鮮紅色で覆われ、貯蔵力も大きく、特に北海道においては、貯蔵力のすぐれた立派な果実が生産されており、北空知

地方では、今後益々栽培はふえていくことと思ひます。

今秋はスターキングは二年苗もあり、デリシャス、リチャードも接木の活着も良く、活着後の生育も又大変よろしい。

ジョナレット

本種は、紅玉の枝変わりで、全面真赤に着色いたします。最近紅玉は、一般に着色の良い系統が用いられて来ましたが、本種もその系統の一つで、味、形は紅玉と同様です。この外紅玉の枝変わりとして、弊社では、濃紅玉として選抜した系統があり本秋より販売いたします。

紅玉

リンゴといへば、秋に真紅に輝いて店頭に並べられているのが連想されます。この真赤なリンゴが紅玉といわれる位、消費者の皆様へ愛され利用されて来ました。風味香気は由り分なく、真のリンゴの味は紅玉とさえいわれております。日本におけるリンゴの品種中、国光と共にその主体をなしております。更に北海道においては、この品種を栽培すると、貯蔵力のきくことで、普通の貯蔵庫でさえ、六月頃迄食用に供することが出来ます。

併し欠点としては、ゴム病の発生することとこれに対しては、着色の良い大きい果実に良く発生いたします。また収穫期がおくると同様に発生しますので、札幌附近では十月二十日頃迄に収穫するようにして下さい。

最近紅玉も着色の良い系統を利用するようになりつつあつて、弊社も、そのような系統を探し、良い系統を選び出して増殖中です。

国光

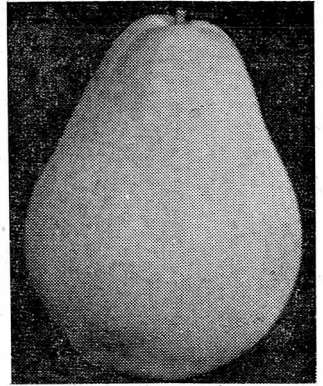
一名「雪ノ下」「四九号」と呼ばれ、大変作り易いリンゴとして全国的に紅玉と共に栽培されております。熟期は最も晩熟で、雪の降る時になつても収穫されるというところから雪の下と

旭

いう別名が生まれました。本種は、北海道の北空知以北でも作り易いリンゴとして相当栽培されておりますが、この地帯では耐寒力弱く、また果実も小型で味が十分に出ないので市場価値が劣ります。むしろ後で説明いたします旭の方へ栽培の重点を移行した方が良いでしょう。但し適地においては、年々豊産しかも貯蔵力大きく作り易いリンゴとしてまだまだ増殖される事でしょう。このリンゴも国光一二三等というふうに着色の良い系統が最近用いられて来ましたが、弊社でも、着色の良い系統を選抜して育苗いたしておりますのでご用命下さい。

旭は、最近になりその真価が改めて認識されて来ました。従来は特に府県では、着色の早い点にのみ着目して、早もぎした結果、一般にはスッパイ「リンゴ」という観念をうけたようです。併し本種の特性は耐寒力強く、北海道等の寒地で作り、充分樹上で完熟させて収穫された時の味は、その香りと共になんともいれぬ特味を出します。また収穫後一二月月おいた後の味は、他の品種の追隨を許さぬ位すばらしい味です。無袋栽培ではなお一層その特性を發揮いたします。現在北海道特に北部地方において、急速に増殖されつつあります。

以上のほか、中生種としては、祝(十四号)をおすすめていたします。また早生種としては、黄魁、紅魁、アーリーレッドパード等があり、それぞれ、寒い地方では、その特色を十分に發揮しております。また青森のリンゴ試験場で育成せる品種のうち、陸奥は形が頗る大きく、味も良く、特殊な用途に対しては、十分価値のある品種と思ひます。



千 両 (身不知)

☆梨について

梨には、洋梨と和梨の二つの種類があります。わが国における栽培では、和梨が大多数をしめております。

洋梨は、現在加工原料として、山形県においてパートレットが大規模に作られている以外北海道で僅か作られている位です。併し本種の持つ特有の香と味が一般に理解されてくれば、将来大いに有望でしょう。北海道等では、もつともつこの優秀な洋梨を生産すべきではないでしょうか。特に確詰原料としては、和梨の遠く及ぶべきものではないのですから、その方面への進出を考へても良いでしょう。更に寒い地方では長十郎等の日本梨よりも品質良く味も良いのですから、北海道の中部等では、更に増殖してもよいでしょう。

和梨にはいろいろの種類があり、更に最近では新しく育成された品種も次々と出て来ております。現在わが国における代表品種は赤梨においては長十郎、青梨においては二十世紀です。前者は大衆品種、後者は

高級品種、又前者は余り土地を選ばず、後者は非常に土地特に気象条件をえらびます。

現在のところこの両者とも、それぞれその特性を利用して増殖されつつあります。北海道では、二十世紀は無理でしょう。

長十郎は道南渡島地方では、府県産のものに比較して何等劣るところのない、むしろ貯蔵力の大きい、立派な梨がとれます。併し他の地方は、自家用ならばよいが販売用には不向きです。

長十郎よりは、新しいところでは新世紀の方がよいでしょう。

一般に北海道のような寒い地帯では、千両(身不知)、北海早生等の方が作り易く耐寒力もあり、販売用、自家用共におすすりいたします。

なお明年秋には、北海道農試の耐寒力の強い育成品種を販売する予定です。

次に各品種について簡単に御説明申し上げます。

和 梨

新 世 紀

本種は、昭和初年石川鎮治氏に依り二十世紀×長十郎の組合せから選抜育成され、昭和二十年新世紀と名付けられたものです。

樹勢極めて旺盛、花芽はつき易く、また結果状況も大変良い。果実は大きく、玉揃い良く、形は正円または扁円で、果皮は緑黄色です。熟期は北海道南部では九月下旬頃で、同地で収穫される長十郎よりは幾分早いようです。同地では長十郎に代つて本種を望んでおります。また道中央

部、空知方面でも最近試作の結果から長十郎よりも作り易いところから増殖を見つつあります。但し余り乾かない地方とか灌漑の可能な土地を選定する必要があります。

雲 井

本種は、興津園芸試験場において梶浦博士により昭和一四年石井早生×八雲の組合せから育成されたもので、樹勢強く、花着きも良い。果実は三〇〇g位で形は円く玉揃良く、果皮は褐色です。熟期は石井早生より二〜三日早く、品質は中の上位、この品種は早生の大衆向き品種として将来性があります。

八 雲

赤穂×二十世紀の交雑実生より育成された品種で、早生の青梨として代表的品種です。果実の大きさは中位二〇〇g内外で、果形はやや長味のある円形または卵円形、果皮は平滑淡黄緑色、果肉は少し黄色味を帯び柔軟多汁、甘味はかなり強い優良品種です。

本種の欠点は樹勢弱く、玉太りの悪いため単位収量がすくないので、表土の深い肥沃地に栽植すると共に、結実を制限し葉を多くする事並びに収穫後追肥を十分行うことが必要です。

北海早生 (一名相内)

樹勢強健、耐寒性強いため、北海道においては、各地で栽培されております。

果実は円形、果皮は黄緑色で平滑、果肉は漿液多く水分に富む。病虫害に強く栽培容易で、豊産ですが日持ちが余り良くないようです。

千 両

一名身不知、前者より晩生で、形は洋梨に似て大果、大きいものは一コ五〇〇g位になります。樹勢きわめて強健、且耐寒力強く(現在栽培されている梨では最強)栽培は容易です。結果力も良く、年々豊産で、枝が折れる程結果します。このため余市方面で「身不知」という名が生まれたといふことです。

収穫は十月下旬から十一月月上旬で、翌年一月頃まで貯蔵されます。品質は余り上等とは申し上げられません、独特の味と香りは北海道においては大変親しまれており、都市の家庭園の中にも大いにとり入れられ、北方の寒い地方でも自家用として収穫を楽しむことが出来ます。

長 十 郎

明治二六、七年頃、神奈川県当麻長十郎氏に依り育成紹介された品種で、きわめて作り易く、また味も一般受けするところから急激に増え一時日本梨の約六割を本種で占めました。現在では二十世紀に押されがちですが、併し無袋栽培は可能で有袋の物に比較して遙かに味が良く今後無袋栽培が取上げられるにつれて今一度この梨の利用も考えられてくるでしょう。特に北海道の渡島地方で産出されるものは、大果で食味も良く、特に府県産のものに比し貯蔵力に富んでいます。翌年の一月頃までも食用に供され、七飯梨として市場で好評を博しております。北海道では、札幌以北では、形も小さく食味も余り良くないので自家用以外は無理でしょう。

二十世紀

現在和梨の高級品種といえは水々しい肌ざわりと、口に入ればとけるような肉質と味を持つた二十世紀でしょう。

外観も良く、果実の大きさは三〇〇g位であつて食味も甘味強く、芳香に富み、肉質も良く品質は最上です。果皮の色は青く、いわゆる青梨の代表的品種です。日本における梨の育種目標は二十世紀のような品質で、作りやすいものといふところにあります。併し唯一の欠点は黒斑病に弱いといふことです。この病気は、五、六、七月頃の湿度の多い地方で多発し、現在のところ袋掛けと薬剤撒布に依り防いでおりますが、不適地では袋掛け三回ポルトウ合剤の十四、五回にも及ぶ撒布により栽培が可能といわれております。鳥取県や長野県伊那地方の如く五、六、七月に降雨が三百、以

下のところでは、簡単にしかも品質の優良な物が作られております。これらの地方に類似した地方では、栽培しても良いと思えます。北海道では耐寒力無く栽培は無理でしょう。

洋梨

ブランドーワイン

果実は、余り大きくはありませんが、大変味の良い梨です。この味は一度口にした方は忘れることではないでしょう。札幌における収穫期は九月中旬頃です。収穫後二週間位で、食用適期になります。

パートレット

最も一般に普及している洋梨で、日本における洋梨の大部分は本種です。食味も良く、樹勢も強く豊産で、札幌附近における収穫期は九月中旬頃です。本種は生食用の他加工原料として最適のもので、将来加工業の発達と共に大いに利用されるべきもので将来増殖されて良いものです。最近アメリカで本種の枝変わりで果面が赤く着色される「レッドパートレット」が発見され、わが国に於ても試作の段階に入っております。弊社でも本秋より苗木の販売をいたします。余り数量がありませんので、ご希望の方は急ぎ発註下さい。

日面紅

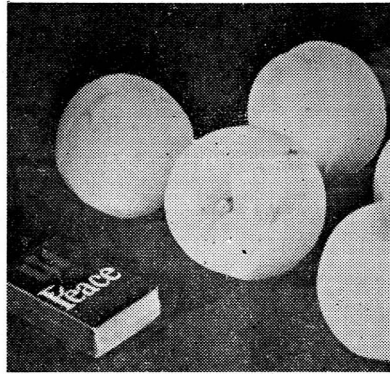
原名フレミッシュビューターといわれ、北海道における洋梨の主要品種です。果形頗る大きく樹勢も旺盛、更に耐寒力にすぐれ、胴枯病に抵抗力強く免疫性であるといわれております。果面は光沢あり、黄色で更に陽光面が赤褐色を呈するところから日面紅という名がつけられたもので、札幌における収穫期は九月下旬です。

レッドパートレット

本種は、米国のワシントン州ジラノマックレット氏により、パートレットの枝変わりより発見され育成された種類で、在来の梨とは異なり全面に真

赤な色がつきます。

北海道においても、納内村の仲野連吉氏により導入され現在同氏により試作されております。弊社におきましては昨年秋より苗木の育苗を始め、本年も現在のところ順調に育っており、皆様方のご利用をお待ちいたしております。品切れにならぬうちに早目に発註下さい。価格は一本二百円



白鳳

☆桃

近年桃の増殖も大変ふえて参りました。生果の需要は勿論の事、加工用としても伸びつつあります。

最近では、北海道のような寒いところでも自家用として販売用として栽培する方がふえて来ました。販売用としては道南の一部を除いては無理かと存じますが、適切な品種を選定して風当り弱いところに植え付ければ楽しみが一つふえるわけです。

今秋より新たに優良品種であります「藤浪早生」の販売を計画いたしております。次に桃の品種について説明いたします。

愛知県下の坪内清氏により育成された早生の優良品種で、樹勢強健、病虫害に強く早生種としては大果に属します。日持も長く、花粉も多いので結果歩合も高い優良品種です。

布目早生

愛知県の布目清氏が作出され、昭和二六年に品種登録された品種で収穫期は頗る早い。果実は余り大きくはななく一五〇〜二〇〇g程度、収量は中位、品質は極早生のものとしては優良だが、肉質は軟かく、荷傷みしやすく長途の輸送に耐えないので、市場の近郊で栽培されるべき品種です。

倉方早生

東京都倉方英蔵氏の作出によるもので、昭和二六年に登録されたものです。花粉が余りないので授粉樹を必要とします。収穫期は布目早生よりは遅れ岡山早生と同位で果実の大きさは一四〇〜一七〇g程度です。果肉は堅く日持良く輸送に耐えます。品質は優良で甘味多く、今後大いに期待出来る品種です。

大久保

岡山県の大久保氏の育成した品種で、全国的に栽培され、現在北海道においても各所で栽培されております。本種は豊産にして果実の外観も良く離核性で甘味の強い品種です。

白鳳

本種は、神奈川県豊田で育成された大変甘味の強い品種で、早生の桃が終りこの桃が出るようになることから始めて桃らしい桃が出たという感じを賞味する者に与えます。

果実の大きさは平均一八〇〜二〇〇gで大変結果力が強く、結果させ過ぎると小玉になります。北海道においても最近この品種が植えられて参りました。

☆梅

わが国においては、古くから愛好されてきた果樹です。この果実は梅干として誰でも口に出来たものです。寒さに対しても相当強く、北海道においても、杏との雑種ではないかといわれております。豊後梅が大変良く育ちます。この種類は寒さに強く且つ又果実も大きく自家用としては最適です。更に漬梅用としては白加賀をおすすめいたします。本種は前者より耐寒力はやや劣りますが、品質はきわめて良く風土を選ばず、北海道では道南以外は少々無理かと思えます。樹勢は強健で不完全花の生成も少ないので年々豊産です。果実も大きく、関東東北方面の方々に大いにすすめてくれます。

☆杏

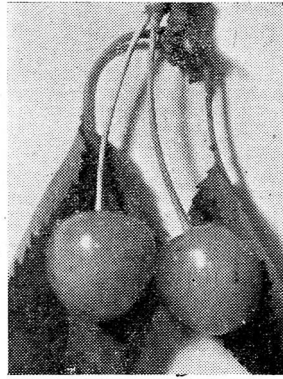
杏は最近特に栽植されて来た果樹で、生食用というよりはジャムとかシラップ、杏漬等の加工用原料として今後大いに増殖をはかるべきものだと考えます。特に杏のジャムは特殊な芳香、鮮明なる色彩、濃厚な味等の点より今後パン食の普及と共に需要は増大する事でしょう。また杏は梅に比較して耐寒力遙かに強く、例えば北海道において比較的耐寒力があるといわれている豊後梅の生育出来ぬ道中央部以北においても大変良く生育し梅の代用として漬物の原料に用いられております。家庭用果樹として、又副業としておすすめいたします。

平和杏

現在長野県の杏の大部分をしめるといわれ、樹勢極めて強健、豊産性で、果実は円形で大きく、シラップ漬等の加工用としては最適です。

甘 杏

樹勢は強健、果実の色沢も良好で、特に耐寒力きわめて強く、寒地向けとしては最適です。結果性は豊産で形も大きく食味も良く、加工用としても非常にすぐれております。



北 光

☆桜 桃

毎の季節も終り早生リンゴの顔が店頭に出る前に赤い小さな桜桃が収穫されます。他の果物に比較して余り手間も要らず、相当程度の収穫を挙げ得ます。家庭の副業としても有利な果樹です。

ただ果実の収穫期に降雨の多い地方では実割れのおそれがありますから、果皮の強靱な水門（北光）やナポレオン等の栽植をおすすめいたします。

尚単植いたしますと結実不良な事もありますから二種以上の混植をおすすめいたします。

日 ノ 出

桜桃の内最も早く収穫されます。色は紫赤色、果型は短心臓形で大きさは中位です。樹勢は強健、甘味に富んでおりますが品質は中位、豊産性の品種です。

黄 玉

本種は結実期に達する事きわめて早く、熟期は

中生です。果形は純心臓形で果皮は淡赤黄色で豊産です。欠点としては、果皮が弱いため成熟期に降雨がありますと非常に実割れが多い様です。食味は甘味に富み品質は優良です肉質が柔らかいため輸送には不向です。

高 砂

發育極めて旺盛な中生種です。結実期に達することの早い種類です。果実は心臓形で大きさは中位、果皮は強靱で表面は帯赤黄白色で外観美麗なさくらんぼです。甘味に富み、生食品種中最上といわれておりますが、成りがあまり良くない様です。

大 紫

樹性は強く病害に対する抵抗力の強い品種です。晩生で果型は長心臓型の大果で果皮の色は紫黒色、味は甘酸適和で紫黒色品種中随一でしょう。

ナポレオン

晩生で現在各地で作られております。果実は大きく、やや扁平な心臓形をなし果皮は黄地帯紅色で肉質は緻密にして多汁、味も良く果皮が強いため輸送用には好適です。

水 門（北光）

一名北光と呼ばれ、果形は大きく、表面は黄地に陽面鮮紅色を呈し大変美しい桜桃です。形は尖心臓形、味も大変良い。本種の特性は果皮が強靱な降雨による実割れが少ない事で現在北海道において非常にふえつつあります。降雨が多く実割れで困っている地方では是非栽植すべき品種です。

☆李（プラム）

李は、最近急激に増えて来た果樹です。桜桃の収穫後早生リンゴの出はじめる迄の新鮮な果物の無い時期に収穫され、その独特の持味が一般に受け入れられる様になったため需要が多くなつたものです。結果年齢も早く、耐寒力強く、しかも乾

燥湿润両地方に良く栽培されます。

現在では品種としても幾多の良品種が出て来ております。プラムと呼ばれております種類は、型も大きく、着色も良く、味の良い種類で新しい品種も各種出来ております。

ただ注意しなければならぬ事は自家不結実性の高い事で、混植を必要といたします。又農業では硫酸鉛には大変弱いのでDTの水和剤の使用をおすすめいたします。

大石早生

ピュテ

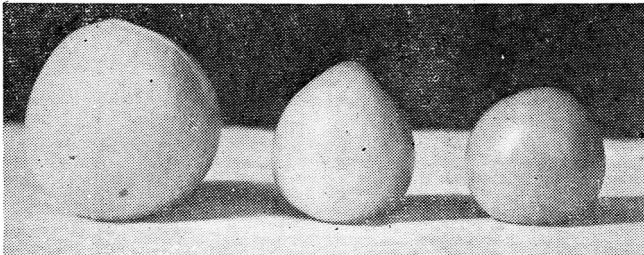
本種は福島県大石俊雄氏の作出した品種で昭和二十七年品種登録されました。

キング

果実の外観はピュテと良く似ており完熟すれば全面濃紅色となり酸味すくなく、甘味の強い食味のすこぶる良いもので、

ファーマー

この為幾分未熟でも食用に供せられます。熟期はピュテに比しやや早く、極早生種としては品質も良く、早生種としての価値は大変大きい。



ピュテ

樹性強健で栽培容易な早熟種です。果実は余り大きくはありませんが形は紡錘形果皮は鮮紅色で薄く、果肉は柔軟多汁で品質も良く豊産です。北

海道の如き寒地ではもつと植えて良いものでしょう。

サンタローザ

樹性は極めて強健、併も豊産です。形は紡錘状で大きく一〇〇〜一二〇gです。果皮は紅色で白粉を被り美麗です。果肉の色は黄色で味は甘味にとみ、品質は良好です。

ファーマー

本種は、米国のバンバーク氏により日本李から改良育成されたもので果実は大きく一五〇〜一七〇g位、紡錘形をなし色は濃紅色です。果肉柔軟、多汁にして甘味と芳香に富み、品質優良です。樹勢は強いほうですが多雨地帯では、穿孔病にかかりやすいようです。

ソルダム

樹勢きわめて強健で發育頗る良く、病害に対しても強く豊産性の栽培容易な品種です。本種は、日本李で米國より運輸入されたといわれております。果形は円型で大きく、果皮は餡色で強靱です。果肉は濃紅色で緊り、甘味多く品質極めて優良で又日持の良い品種です。

以上の外大石俊雄氏の作出した「月光」「紅麗」「甘露」等は将来性ある品種です。

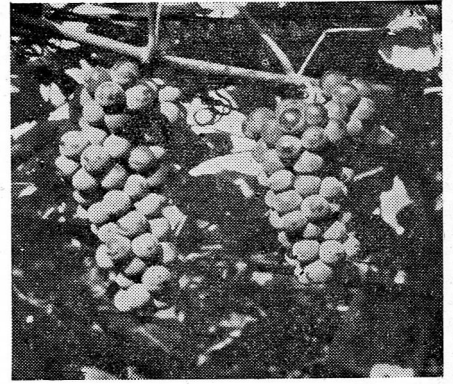
飼 肥 料 木

傾斜地の土壤防止や、土性改善のために飼肥料木の植付けをおすすめいたします。

イタチハギ

トゲナシアカシヤ（英國系・青島系）

十本	五〇〇円
百本	二五〇〇円
千本	二、三〇〇〇円
十本	二五〇〇円
百本	二、三〇〇〇円



☆ブドウ

現在、わが国において使用されていますブドウ苗木には、免砧接木苗と挿木苗との二種があります。

免砧接木苗とは、ブドウの根に寄生するフィロキセラに対して抵抗力のある砧木を使用して接木した苗木です。接木苗は、害虫に対して抵抗力があるばかりではなく挿木苗に比し樹勢が旺盛で収量も増大し、また熟期も早まる等の利点があります。最近これ等の利点に着目して今迄挿木苗を殆ど使用していた北海道においても接木苗が使用されて参りました。現在のところ生産費の関係でやや高価になっています。

挿木苗は当社の直営農場において育成した無病、安全な良苗です。二年苗は一年苗に比較して根張り良く幹も充実しておりしますので、活着も良好です。

今秋販売いたします品種について簡単に説明いたします。

尚今秋からは、オントリオの苗木も皆様に御使用賜るべく準備いたしております故何卒早目に御申し込み下さい。

オントリオ

本種は、大井上研究所で、オントリオとして配布したのが始りで、色は黒色で、カメルスにて似ておりカメルスに比較して、花振り全くなく、着色一でカメルスよりは早く収穫出来ます。

甘味も強く、多少早採りしても酸味がすくないため、早生種として、取上げて良い品種の一つで既に北海道においても試作の段階をすぎ、本格的な栽培が始まるようです。

大粒カメルスアーリー

岡山県においてカメルスアーリーの芽変異として発見された品種です。熟期早く、果穂も巨大で果粒も大きく、色は紫黒色で外観は美しい。余り大量の栽培は考えなければならぬが、自家用とか、贈答用に何本かは栽培をおすすめいたします。

カメルスアーリー

本種は、栽培容易で熟期早く、輸送に耐えるので全国的に広く作られております。

北海道でも栽培面積の大部分は本種でしめられております。色は紫黒色で着色早く、このため幾分早く収穫される傾向がありますので、酸味の多いブドウとして定評がありますが完熟すれば頗る美味です。本種の欠点としては、花振りの強い事で、これに対しては、密植をきげ十分に枝を

伸ばさせ、樹全体を丈夫に育てることが大切です。

デラウエア

一名赤小粒ともいわれ、栽培容易であつて、全国的に作られております。色は淡赤色で果穂やや小さく、また果粒も小粒ですが甘味に富むため一般消費者としては、大変買い易いブドウとして好評です。ただ本種は着色が不完全であれば、市場価値が下りますので着果を制限して着色を完全にするように注意して下さい。

ナイヤガラ

本種は、いわゆる「青ブドウ」として特に北海道においては大変親しまれております。果穂果粒共に大きく、強健、豊産にして栽培容易な品種です。甘味に富み、特に黄色になる迄樹につけておいたものの味は格別です。北海道等は今すこし増殖されるべき品種です。

☆小果樹類

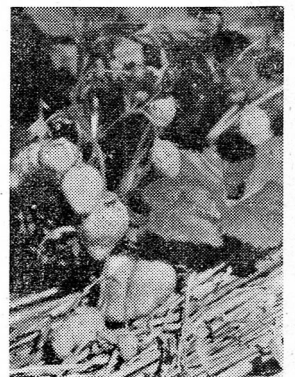
大玉グスベリ

栽培容易な小果樹で、将来加工原料としても有望であります。特に開拓地等での栽培をおすすめいたします。なお病害としてはウドンコ病が最大の敵ですが、早期に石灰硫黄合剤を散布すると防除する事が出来ます。

春先芽出しが大変早いため、春の苗木の購入は苗の痛みがはげしいようですから苗木は秋の内に おもとめ下さい。

巨大グミ

頗る大果で普通グミの数倍大きく、味も甘味の強い併も樹性強健赤い実を鈴成りに結果します。是非家庭園に一本欲しいものです。



☆莓苗

フェアファックス

二十株 一〇〇円
百株 四〇〇円
千株 三、五〇〇円

寒地型優秀種、大果で甘味に富み、果実は濃紅色日持ち良く、輸送に耐ゆ。豊産、玉揃いもよい。生食、ジャム両用に適す。

ドルセット

二十株 一〇〇円
百株 四〇〇円
千株 三、五〇〇円

前者に類似し、鮮紅色、甘酸適和で熟期はやや早く、品質極上、高価な莓です。

幸玉

二十株 二〇〇円
百株 八〇〇円

酸味少く、甘味の強い莓で一名「砂糖イチゴ」といわれ草生強健。正円錐型、鮮紅色、玉揃い良好です。最近本道に導入されたもの。

註

- 送料及び荷造費は弊社負担です。
- 苗木の発送は九月中旬より九月末頃までです。